



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月7日

上場会社名 株式会社ファルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4671 URL <http://www.falco-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安田 忠史
 問合せ先責任者 (役職名) 管理室 (氏名) 黒田 修平 TEL 075-257-8585
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	11,316	△2.5	321	△40.7	373	△36.4	208	△41.3
30年3月期第1四半期	11,605	△1.4	541	40.0	587	45.3	354	74.7

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 95百万円 (△80.1%) 30年3月期第1四半期 477百万円 (357.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	19.10	19.08
30年3月期第1四半期	32.64	32.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	33,183	18,936	56.9
30年3月期	32,656	19,081	58.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 18,866百万円 30年3月期 19,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△2.1	2,100	△5.0	2,200	△7.8	1,400	△17.5	128.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	11,280,177株	30年3月期	11,280,177株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	369,924株	30年3月期	387,414株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	10,899,042株	30年3月期1Q	10,864,273株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米国の保護主義的な通商政策や金融資本市場の変動等の影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場では、医療費抑制に向けた取り組みが進められるなか、同業他社間の競争が激化しており、厳しい事業環境が続いております。また、調剤薬局市場では、平成30年4月に実施された調剤報酬及び薬価の改定において、特定の医療機関からの処方箋集中率が高い薬局の調剤基本料の引き下げや薬価の引き下げ等が行われ、厳しい事業環境となっております。

当社グループでは、このような事業環境のもと、臨床検査事業及び調剤薬局事業の収益力の強化を図るとともに、将来の事業環境の変化を見据えた事業展開を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、調剤薬局事業での調剤報酬及び薬価の改定の影響が大きく、売上高は11,316百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益は321百万円(同40.7%減)、経常利益は373百万円(同36.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は208百万円(同41.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業につきましては、営業活動の強化により新規顧客の獲得を図るとともに、生産性の向上及びコスト競争力の強化に取り組んでおります。また、中小規模病院向けのクラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」の販売強化に取り組んでおります。

臨床検査事業においては、臨床検査の受託検体数が伸び悩んだものの、電子カルテ「HAYATE/NEO」の売上の増加により、売上高は7,128百万円(前年同期比0.7%増)となりました。また、試薬費等の検査原価や人件費の減少により、営業利益は381百万円(同21.8%増)となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業につきましては、堅実な店舗運営を推進しつつ、既存店舗の処方箋応需の拡大及び店舗運営の効率化に取り組んでおります。また、かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を果たすとともに、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進めております。

当第1四半期連結累計期間において、1店舗を開局したことにより、当第1四半期連結累計期間末における当社グループが運営する調剤薬局店舗総数は112店舗(フランチャイズ店5店舗含む)となりました。

調剤薬局事業においては、平成30年4月に実施された調剤報酬及び薬価の改定の影響が大きく、処方箋単価が低下したことにより、売上高は4,192百万円(前年同期比7.5%減)、営業利益は19百万円(同93.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に現金及び預金やたな卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ526百万円増加し、33,183百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金や未払金の増加により、前連結会計年度末に比べ672百万円増加し、14,247百万円となりました。

また、純資産は、配当金の支払いやその他有価証券評価差額金の減少により、前連結会計年度末に比べ145百万円減少し、18,936百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,391	8,614
受取手形及び売掛金	6,869	6,415
商品及び製品	904	1,285
仕掛品	92	106
原材料及び貯蔵品	403	385
その他	1,198	1,507
貸倒引当金	△7	△14
流動資産合計	17,853	18,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,253	9,289
減価償却累計額	△5,666	△5,724
建物及び構築物(純額)	3,587	3,564
土地	4,589	4,591
リース資産	507	507
減価償却累計額	△445	△451
リース資産(純額)	61	55
その他	7,107	7,257
減価償却累計額	△6,285	△6,311
その他(純額)	822	945
有形固定資産合計	9,060	9,156
無形固定資産		
のれん	42	37
その他	491	503
無形固定資産合計	533	541
投資その他の資産		
その他	5,219	5,195
貸倒引当金	△9	△10
投資その他の資産合計	5,209	5,185
固定資産合計	14,803	14,883
資産合計	32,656	33,183

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,685	5,264
短期借入金	1,925	1,925
未払法人税等	476	179
引当金	568	215
その他	2,207	3,030
流動負債合計	9,863	10,616
固定負債		
長期借入金	550	550
引当金	167	174
退職給付に係る負債	1,956	1,935
資産除去債務	139	140
その他	897	830
固定負債合計	3,711	3,631
負債合計	13,575	14,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,391	3,391
利益剰余金	12,360	12,298
自己株式	△616	△588
株主資本合計	18,506	18,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	505	392
その他の包括利益累計額合計	505	392
新株予約権	69	69
純資産合計	19,081	18,936
負債純資産合計	32,656	33,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	11,605	11,316
売上原価	8,068	8,023
売上総利益	3,537	3,293
販売費及び一般管理費	2,996	2,972
営業利益	541	321
営業外収益		
受取配当金	33	33
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	17	22
営業外収益合計	51	56
営業外費用		
支払利息	2	2
支払手数料	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	5	3
経常利益	587	373
特別利益		
事業譲渡益	14	—
特別利益合計	14	—
特別損失		
固定資産除却損	17	3
特別損失合計	17	3
税金等調整前四半期純利益	585	369
法人税、住民税及び事業税	159	166
法人税等調整額	71	△5
法人税等合計	230	161
四半期純利益	354	208
親会社株主に帰属する四半期純利益	354	208

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	354	208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	△113
その他の包括利益合計	123	△113
四半期包括利益	477	95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	477	95

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,073	4,532	11,605	—	11,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	0	4	△4	—
計	7,077	4,532	11,609	△4	11,605
セグメント利益	313	300	614	△72	541

(注) 1. セグメント利益の調整額△72百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△357百万円及び内部取引の消去に伴う調整額284百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,124	4,192	11,316	—	11,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	0	3	△3	—
計	7,128	4,192	11,320	△3	11,316
セグメント利益	381	19	400	△79	321

(注) 1. セグメント利益の調整額△79百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△348百万円及び内部取引の消去に伴う調整額268百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。